

【1月のテーマ】 冬鳥を楽しむ

案内人：望月みずき（鳥の博物館学芸員）



▲冬鳥のツグミ。地中のコガネムシの幼虫などを探して食べる。

冬は見られる野鳥の種類が増え、木々の葉が枯れ落ちて観察しやすくなるため、バードウォッチングに最適な季節です。まずは手賀沼でどんな冬鳥が見られるか別紙のパンフレットで見てみましょう。水面にはカモやカイツブリの仲間、ヨシ原ではオオジュリンなどの小鳥類が見られます。鳥たちを見つけたら、どんな行動をしているのかじっくり観察してみましょう！

2023年1月14日（土）

車や自転車に注意しましょう。水田や私有地では、マナーを守って観察しましょう。

鳥たちの行動を観察してみよう



地面で採餌するオナガガモ

食べ方をみてみよう

水に潜って水底の餌を食べる鳥、地上で葉を食べる鳥、ヨシの茎の中にある虫を食べる鳥など、様々な方法で餌を探します。

カモの求愛行動

冬はカモの求愛の季節です。カモのオスたちの求愛ディスプレイを見てみましょう。



求愛をするコガモ



モズのオス

モズのなわばり争い

モズやジョウビタキは冬の間もなわばりを持ち、なわばり争いをしています。

羽づくろい

尾の付け根付近にある尾脂腺びしせんでくちばしに脂を付け、羽に塗ることで手入れをします。



羽づくろいをするオナガガモ